

2010年1月28日

シンバイオ製薬株式会社

代表取締役社長 吉田 文紀

### 第三者割当増資（総額22億円）完了のお知らせ

シンバイオ製薬株式会社は、平成21年12月24日付の臨時株主総会におきまして決議いたしました第三者割当による新株式発行（発行上限価額700,020,000円、11,667株）について、688,020,000円（11,467株）の払い込みが完了しましたのでお知らせします。

今回の新株式発行は、平成21年8月21日付の臨時株主総会で決議いたしました第三者割当による新株式発行（発行上限価額15億円、25,000株）に対して、予想以上の申し込みがありましたことから新株式発行枠を拡大したものであり、これにより当社の調達資金総額は22億円となります。

当社開発第1号品であるSyB L-0501（ベンダムスチン塩酸塩）に関して、平成21年10月30日に再発または難治性の低悪性度非ホジキンリンパ腫およびマントル細胞リンパ腫の適応症で希少疾病用医薬品指定を受けて、優先審査のもと製造販売承認申請を行っておりますが、2010年にはその適応拡大として中高悪性度非ホジキンリンパ種の第2相臨床試験開始（現在第1相臨床試験中）、及び多発性骨髄腫の臨床試験開始を計画しております。また、当社開発第2号品である経皮吸収型持続性制吐剤SyB D-0701につきましても、同じく2010年中に第2相臨床試験を開始する計画であります。当社は今回調達した資金をこれらのパイプラインの更なる拡充に充当することにより、企業価値の更なる向上に努めてまいりますので、引き続き、より一層のご支援とご理解をお願い申し上げます。

以上

#### 【SyB L-0501：主成分 ベンダムスチン塩酸塩（一般名）】

シンバイオ製薬株式会社は、本剤を開発品目第1号品として日本、中国、韓国、台湾、およびシンガポールにおける独占的開発および販売権に関するライセンス契約を、アステラスドイッチラント社と締結しております。また、2008年8月にエーザイ株式会社に対し日本における共同開発権および独占販売権を供与するライセンス契約を、2009年5月に韓国とシンガポールにおける独占的開発権および販売権を供与するライセンス契約をそれぞれ締結いたしました。（北米においてはセファロン社、欧州においてはムンディファーマ社が開発権および販売権を有しております。）

なお、本剤は米国では治療薬として既に市販されており、米国NCCN（National Comprehensive Cancer Network）の癌に関するガイドライン（Clinical Practice Guidelines in Oncology）において第一選択薬として推奨されております。

#### 【会社概要】

シンバイオ製薬株式会社は、米国アムジェン社元副社長で、アムジェン株式会社（現 武田バイオ開発センター株式会社）の実質的な創業者である吉田文紀が2005年3月に設立した医薬品企業です。経営理念は「共創・共生」（共に創り、共に生きる）で表され、患者さんを中心として医師、科学者、行政、資本提供者を「共創・共生」の経営理念で結び、満たされない医療ニーズに応じてゆくことにより、社会的責任および経営責任を果たすことを事業目的としております。

【本件に関するお問い合わせ先】

シンバイオ製薬株式会社

執行役員 管理本部長 前川 裕貴

Tel: 03-5472-1125

e-mail: ホームページ「お問合せ」サイトより送信をお願いいたします。

URL: <http://www.symbiopharma.com/>